

## 英語英米文学専攻の概要と特色

本専攻は、本学の教育理念を踏まえて、英語英米文学の思想的基盤であるキリスト教思想に通暁しつつ英語英米文学の高度な専門的研究を進めるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問い、生きることの意義を追究する敏活柔軟な知性の育成を志し、研究職、教育職を初めとして各種の専門職に幅広く適応する人材の養成を目指している。

### (1) ディプロマ・ポリシー

本専攻に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（文学）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

1. イギリス文学、アメリカ文学、英語学・言語学並びに関連分野にわたって、広範な知識を身に付けている。
2. 論理的な思考力をもち、英米を中心とした英語圏の文学、言語に関わる諸問題を深く追究できる。
3. 研究対象を分析するための客観的な判断力と健全な批判精神を備えている。
4. 英米を中心とした英語圏の文学、言語の諸問題について高い関心を有している。
5. 高度な英語能力と深い専門知識を生かして、教育現場等で、広く社会に貢献しようとする積極的姿勢を有している。

### (2) カリキュラム・ポリシー

本専攻のカリキュラムは、上記の教育目標を達成するために、専門研究分野としてはイギリス文学、アメリカ文学、英語学言語学の3研究分野をもって構成し、あわせてキリスト教思想に関する科目を専門関連科目として配置して、高度な専門性と人間存在の意義を追究できる広い視野に立つ編成を旨としている。

これらの3研究分野と専門関連科目内に配置している科目の内容は次の①～④に示す通りである。

#### ① イギリス文学分野

16・17世紀英詩、19世紀及び現代イギリス小説、エリザベス朝時代及び現代アイルランド演劇、文学批評理論の研究を進めることを通して、イギリス文学の普遍的価値への洞察を深める。

#### ② アメリカ文学分野

19・20世紀アメリカ小説やユダヤ系アメリカ作家の文学世界を研究することにより、現代の抱える普遍的な問題点を考察するとともに、文学研究に必須の文学批評理論の研究も深める。

③ 英語学言語学分野

一般言語学の理論と方法論を活用し、統語論、意味論、語彙論等の領域で言語システムの解明と、英語教育の研究を深めていく。個別言語として、主に英語と日本語を対象とするが、言語普遍性の問題を探究し、その対照研究により、英語の本質を明らかにする。

④ 専門関連科目

英語、英米文学の基盤にあるキリスト教思想の究明を志す。言語と文学を、思想ともからめた広い視野からとらえなおすことの重要性を考えて、授業科目を配置した。

(3) アドミッション・ポリシー

本専攻では、上記概要に示している教育目標に共鳴し、英語英米文学を専門的に研究しながら、国際的視野に立って広く国内外で活躍し、自己の人生を豊かにすると共に社会に貢献しようという意欲を持っている女性を求めている。